## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	第二外国語1(ドイツ語)(German 1)		授業コード	A030101	
担当教員名	津田 克巳		科目ナンバリン グコード	A20313	
配当学年	2	開講期	前期		
必修•選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意また は履修条件	特にありません。				
受講心得	予習は必ずしてきてください。授業には教科書のほかにノートと独和辞典をいつも持参してください。				
教科書	橋本政義/橋本淑恵/Heike Pinnau『旅するドイツ語』(同学社)				
参考文献及び指定 図書	根本道也編著『やさしい!ドイツ語の学習辞典』(同学社)、福本義憲著『はじめてのドイツ語』 (講談社現代新書)、在間進著『メモ式ドイツ語早わかり』(三修社)、中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『必携ドイツ文法総まとめ―改訂版―』(白水社)、中野久夫『ドイツ語が面白いほど身につく本』(中経出版)、関幸子『カタコトのドイツ語がらくらく話せる本』(同前)、岩間智子『しっかり学ぶドイツ語 文法と練習問題』(ベレ出版)、獨協大学ドイツ語教育研究会『はじめてのドイツ語〈改訂新版〉』(ナツメ社)、矢羽々崇著『ドイツ語はじめの一歩まえ』(DHC)、植田健嗣『ドイツトラベル事典―ドイツ個人旅行ガイド―』(郁文堂)、渡辺二郎・ネスピタール愛『やさしいドイツ語の決まり文句』(南雲堂フェニックス)。				
関連科目	第二外国語2(ドイツ語)、英語1~4、	基礎学力講座・国語	、文章表现	見基礎講座。	

授業の目的	外国語を学ぶことの意義は、母語にのみ基づいた考え方、感じ方に新しい視点を導入し、世界の捉え方に変革をもたらすことにあります。大学では中学校以来学んできた英語に加えて別の外国語を学ぶことが望ましく、それは単に専門教育にとってのみならず、教養教育の一環としても大きな意味を持ちます。この科目ではドイツ語の入門の手ほどきを行います。
授業の概要	外国語科目は本来は演習科目ですが、初めて学ぶ外国語であるため、教科書に基づいてある 程度の講義を行います。一方では学生たちに発表を行わせ、授業への積極的な参加を促しま す。

〇授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週:半期(または通年)の学習に関してのオリエンテーション	
授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表やレポートの取り扱い、質問の受け付け方法等について説明し、成績評価の方法にも触れます。	伝達事項について復習をし ておく。
第2週:文字と発音(1)	
アルファベット。発音の原則。ドイツ語特有の読み方をする母音と子音。	予習•復習:発音練習。
第3週:文字と発音(2)	
あいさつ。曜日・月・四季。	予習•復習:発音練習。
第 4 週: Lektion 1: ヘッセン(1)	
本文:発音と意味。	予習:教科書の本文の発 音と意味とを考えておく。
第 5 週: Lektion 1: ヘッセン(2)	
動詞の現在人称変化(1)。	予習:教科書の文法説明を 読んでおく。
第 6 週: Lektion 1: ヘッセン(3)	

備考				
地域志向科目	該当しない			
·····································	(3)アクティブ・ラーニング	・ ァクティノ・フーニンク科目。	アクティブ・ラーニング科目」 	
授業の運営方法 (2)複数担当の場合の方式				
110) Alle Co 1200 All -1 - 1	(1)授業の形式	演習等形式」		
	週までの授業内容に関する試験を行い。 -		予習:前週までの学習事項 を確認しておく。	
	チャレンジ4:カバンの中に何があるか、	. またその感想を言ってみよ	予習:教科書の練習問題を 解いておく。	
第15週:Lektion 4	l: ブレーメン/ハンブルク(3)			
<b>第14週:Lektion 4: ブレーメン/ハンブルク(2)</b> 人称代名詞・前置詞。		予習:教科書の文法説明を 読んでおく。		
本文:発音と意味。		予習:教科書の本文の発音と意味とを考えておく。		
· · · –	l: ブレーメン/ハンブルク(1)		777 W. (1 + 0 + + 0 *)	
	3: <b>ノルトライン・ヴェストファーレン/ニ</b> ・ チャレンジ3:動詞の現在人称変化の間		予習:教科書の練習問題を 解いておく。	
第11週: Lektion 3: ノルトライン・ヴェストファーレン/ニーダーザクセン(2) 動詞の現在人称変化(2)・分離動詞・命令形。		予習:教科書の文法説明を 読んでおく。		
第10週: Lektion 3: ノルトライン・ヴェストファーレン/ニーダーザクセン(1)本文:発音と意味。		予習:教科書の本文の発 音と意味とを考えておく。		
生きたドイツ語にチャレンジ2:お母さんの誕生日にプレゼントを贈ろう。			予習:教科書の練習問題を 解いておく。	
<ul><li>第8週: Lektion 2: ラインラント・プファルツ(2)</li><li>名詞と冠詞・複数形。</li><li>第9週: Lektion 2: ラインラント・プファルツ(3)</li></ul>			予習:教科書の文法説明を 読んでおく。	
本文:発音と意味			予習:教科書の本文の発 音と意味とを考えておく。	
	チャレンジ1:趣味について話してみよう。		予習:教科書の練習問題を 解いておく。	

〇単位を修得するが	〇単位を修得するために達成すべき到達目標		
【関心·意欲·態 度】	英語圏の他にドイツ語圏にも目を向けるようになること。		
【知識・理解】	ドイツ語やドイツ語を話す国や地域に関して基礎的な知識を持つこと。		
【技能・表現・コミュニ ケーション】	簡単なドイツ語文をきちんと発音できるようになること。		
【思考·判断·創 造】	ドイツ語を通して見る世界が英語を通した場合とは違った見え方がするのに気づくこと。		

〇成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他(無形成果)	
【 <b>関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。			45	点
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	45点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	5点			
【 <b>思考・判断・創造】</b> ※「考え抜くカ」を含む。	5点			

## (「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安		
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安	
レポート・作品等 (提出物)		
発表・その他 (無形成果)		